

食料産業局長賞

株式会社ヤマト醤油味噌(石川県金沢市)

【主な品目】

醤油・味噌

【主な輸出先国・地域】

米国、EU、英国、東南アジア諸国、他

【輸出取組の概要】

- 海外での商談会をきっかけとして、海外展開を決意。
- 輸出手続き、販路開拓、販売促進活動を自社で行う。
- 2011年に輸出倍増計画を作成し、当初5千万円の輸出額を、3年後の2014年には1億円超えを実現。
- 北陸3県初、醤油業界でも2番目となるFSSC22000を2012年に取得し、世界レベルの安全基準の要求に対応。
- 業務用市場向けに、自社製造の醤油・味噌を輸出するほか、石川県産大豆を使用した味噌、石川県産材の杉を使用した大桶で醸造した醤油など、オーガニックスーパーマーケット等の小売市場へも輸出する。

【輸出実績】（平成12年から輸出開始）

（5月から4月期実績）

	輸出額(万円)	出荷時期
平成27年度	14,046	通年
平成26年度	15,742	
平成25年度	10,130	

輸出に取り組んだきっかけ

- ・ 一般社団法人石川県食品協会が、アメリカで開催される海外見本市「1999年 Winter Fancy Food Show」(1月サンフランシスコ)に出展することとなり、同協会の一員としての声かけに応じて出展し、初めて商談する機会を得ました。
この出展を通じて得た自社商品をアピールする経験により、自社商品の輸出の可能性を感じ、輸出に強い関心を持つこととなりました。
- ・ 翌年、再び「Winter Fancy Food Show」に出展する機会を得て、その年に出会ったパートナーと商談がまとまったことがきっかけとなり、継続して輸出に取り組むこととなりました。

取り組む際に生じた課題

- ・ 米国におけるバイオ・テロ法の制定は、非常に大きな障害となりました。新たな法律の事前情報が入手困難という課題が生じました。
- ・ 商談を経験するなかで、先方の要求への対応や、当社への理解を深め、交渉をスムーズに進めるための対応が必要と実感しました。



ヤマト醤油味噌、ヤマト糀パーク



2012年に取得した、FSSC22000



輸出倍増計画の商品「ひしほ醤油」

生じた課題への対応

- 米国のFDA(アメリカ食品医薬品局)が、すべての食品メーカーに対して、食品の安全を更に高めるための新たな法律を施行するとの情報を得て、ジェトロの貿易業務の専門家に相談し、対応に必要な情報を入手しました。
- 当社において検討した結果、品質管理手法の中でも、最も要求レベルの高いFSSC22000の認証が必要と判断し、取得の準備に即座に着手しました。
2012年には北陸3県初、醤油業界では2番目となる認証を取得しました。
- 商談においては、単に商品を宣伝するのではなく、当社の歴史やストーリーのある会社であることをアピールすることが重要と判断し、先方に実際に工場に来てもらい、当社の理念を理解してもらうための動画等による、わかりやすいプレゼンを工夫しました。

対応の結果

- FSSC22000の認証を取得し、世界レベルでの安全基準の要求に対応したことにより、米国とEUに加えて、第三の柱として、東南アジア地域の取引先の開拓を狙って、積極的な販売促進活動を行っています。
また、海外での販売促進活動を通じて、現地での醤油・味噌の使われ方を知り、自社の商品開発に役立てることが出来ました。
- 新規のお得意様には、実際に金沢に来てもらい、工場見学等を通じ当社の理念等を理解いただくことが、新たな取引をスタートするうえで、信頼醸成を図る重要な取組となっています。

今後の課題・展望

- インドや中近東などへの販路開拓のため、展示会等の機会を活かして、1カ国に1ディストリビューターをパートナーとして販売促進活動を展開しています。
- また、輸出の多い国・地域には、将来的に現地での加工食品の製造・充てん施設が必要になると考えており、社内での人材教育や海外進出の計画を検討しています。



海外展示会への出展



展示会での陳列



海外販売用商品

【活用した支援・施策】 海外見本市出展、ジェトロ国内商談会

【ウェブサイト】<http://www.yamato-soysauce-miso.co.jp>

【連絡先】担当者名：代表取締役 山本晴一、TEL:076-268-1248